

NUAGE

NUAGE MASTER

CONTROL SURFACE
Ncs500-CT

NUAGE FADER

CONTROL SURFACE
Ncs500-FD

NUAGE I/O

AUDIO INTERFACE
Nio500-D16/A16/A8D8

V1.5 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、NUAGE V1.5で追加/変更された機能を中心に説明します。
NUAGE関連の各マニュアルと併せてご利用ください。

主な変更点

・ Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応	(Nuage Fader)	2ページ
・ クイックコントロール設定画面を追加	(Nuage Master)	2ページ
・ VSTインストゥルメント操作に対応	(Nuage Master)	3ページ
・ ドラッグによる画面スクロールを追加	(Nuage Master)	3ページ
・ トラックの表示/非表示機能に対応	(Nuage Master)	4ページ
・ スーパーファインモードを追加	(Nuage Master、Nuage Fader)	4ページ
・ センドのパニングに対応	(Nuage Master)	4ページ
・ Nuendo6.5の追加プラグインに対応	(Nuage Master、Nuage Fader)	5ページ
・ Nuendo6.5のADR機能追加に対応	(Nuage Master)	5ページ
・ ダイレクトモニタリングの設定を追加	(Nuage I/O)	5ページ
・ Avid Pro Toolsで使用するEthernetポートの選択機能を追加	(NUAGE PT Bridge)	6ページ
・ その他の機能追加	(Nuage Master)	6ページ

Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

Nuage I/Oに接続したRシリーズ(Rio3224-D、Ri8-Dなど)のHAゲインをコントロールできるようになりました。

- ・ SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと、[サブパラメーター 2]を押すと、Rシリーズを接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA GC」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。
- ・ Rシリーズを接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあと、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押すと、[e]を押したチャンネルの「HA GAIN」、「HA GC」、「HA HPF」、「HA +48V」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「VSTコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターが表示されます。

Nuage Faderで設定された値が、そのバスのすべてのチャンネルに適用されます(「左」(チャンネル)の設定が画面上に表示されていない「右」(チャンネル)にも適用されます)。バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーターの後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作	機能
「HA GAIN」	HAゲインを調節します。
「HA GC」	ゲインコンペーンションをオン/オフします。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

Rシリーズの設定

Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックして設定画面を開き、使用するDante Acceleratorを設定を設定します。

クイックコントロール設定画面を追加 (Nuage Master)

チャンネルに割り当てられている「クイックコントロール」のパラメーターを[マルチファンクションディスプレイ]で編集できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — QUICK CONTROLページ



① (Nuendo)

Nuendoの「チャンネル設定」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② パラメーター

選択しているチャンネルに割り当てられている「クイックコントロール」のパラメーターを表示します。各パラメーターの値は画面をドラッグするか、対応する[マルチファンクションノブ]を使って変更できます。

VSTインストゥルメント操作に対応 (Nuage Master)

CHANNEL CONTROLページでインストゥルメントトラック上のVSTインストゥルメントを操作できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — MAINページ



① インストゥルメント

インストゥルメント選択画面を表示します。

② Ch (チャンネル)

MIDIチャンネル選択画面を表示します。

③ e (エディット)

INSTページ(下記)を表示します。

CHANNEL CONTROL — INSTページ



① (Nuendo)

「VSTインストゥルメント」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② 戻る

MAINページに戻ります。

③ オン/オフ

VSTインストゥルメントをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

④ R (リード)

「オートメーション読込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑤ W (ライト)

「オートメーション書込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑥ VSTインストゥルメント名/ライブラリー名

選択しているインストゥルメント、ライブラリーが表示されます。

⑦ パラメーター

任意のパラメーターをタッチすると、そのパラメーターを[マルチファンクションノブ]で操作できます。[マルチファンクションボタンB]を押すと、パラメーターの値をロックします。もう一度押すと、ロックを解除します。

⑧ ライブラリー

ライブラリー選択画面を表示します。

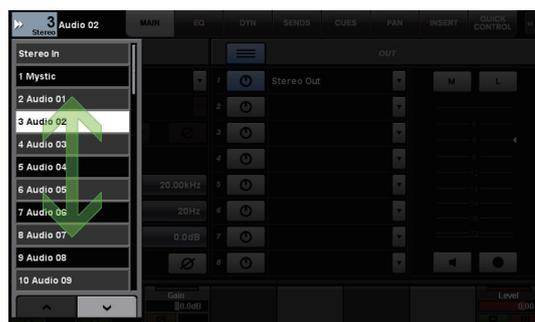
⑨ アップ/ダウン

パラメーターをスクロールします。

ドラッグによる画面スクロールを追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]に収まりきらないリストなどがあるとき、ドラッグして画面をスクロールできるようになりました。

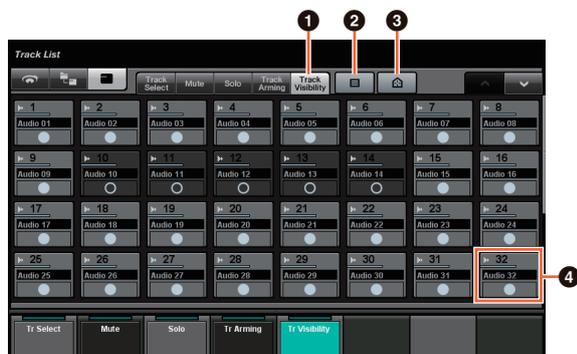
スクロール可能な画面が表示されているとき、MODIFIERセクションの[CTRL]を押すと、画面に矢印が表示されます。矢印の方向にドラッグすると、画面がスクロールします。



トラックの表示/非表示機能に対応 (Nuage Master)

Nuendo 6.5の「任意のトラックの表示/非表示」が行なえるようになりました。大規模プロジェクトでの作業効率を大幅に改善できます。

TRACK LISTページ — Track Visibilityビュー



1 Track Visibility

Track Visibilityビューに切り替えます。

2 Filter Track Types (トラックタイプをフィルター)

フィルターを使って表示させたいトラックタイプのみ選択できます。

3 Track Visibility Agents (トラック表示エージェント)

トラック表示/非表示機能のコマンドリストを表示します。

4 トラック

トラックを表示(点灯)/非表示(暗点灯)します。非表示にしたトラックは、TRACK LISTページの各ビューで操作できなくなります。

スーパーファインモードを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)

CHANNEL STRIPのパラメーターを従来よりも細かく調節できるスーパーファインモードを追加しました。

マルチファンクションノブを押している状態(ファインモード)でMODIFIER SECTIONの[SHIFT]を押すと、[SHIFT]を押している間スーパーファインモードになります。

スーパーファインモード中は、ファインモードよりも([マルチファンクションノブ]で)パラメーターを細かく調節できます。

[SHIFT]を離すと、ファインモードに戻ります。

センドのパンニングに対応 (Nuage Master)

チャンネルの「センド」パンを設定できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — SENDSページ



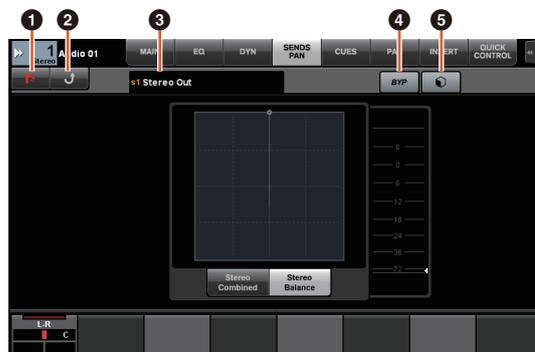
1 LP (Link Panners)

「パンのリンク(Link Panners)」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

2 SENDS PAN

該当するスロットのSENDS PANページ(下記)を表示します。

CHANNEL CONTROL — SENDS PAN ページ



1 (Nuendo)

Nuendoの「チャンネル設定」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

2 戻る

SENDSページに戻ります。

3 出力先

スロット番号と出力先を表示します。

4 BYP (バイパス)

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

5 ライブラリー

ライブラリー選択画面を表示します。

Nuendo6.5の追加プラグインに対応 (Nuage Master、Nuage Fader)

SECTION CONTROLセクションで[DYN]を選択してNuendo 6.5で追加されたプラグイン(Magneto II)のパラメーターを操作できるようになりました。

また、Noise Gateのパラメーターが操作できるようになりました。

(下記はNuage Masterの画面です。)



Nuendo6.5のADR機能追加に対応 (Nuage Master)

Nuendo 6.5で強化されたADRの機能追加に対応しました。

TRANSPORT — ADRサブページ



① Free Run

Free Runモードのオン/オフを操作します。

User AssignableタブのADRでは、U8がFree Runに固定されます。

また、UserAssignボタンの初期設定に以下の機能を追加しました。

② U3: Mute Guide CR (Control Roomのガイドトラックのオン/オフ)

③ U7: ADR Status (ADR Status Indicatorのオン/オフ)

TRANSPORTセクション

ADRモードのとき、TRANSPORTセクションのボタンの機能が変わりました。

[PREROLL]

Free Runモード中のPre Rollのオン/オフを切り替えます。Free Run以外のモードでは機能しません。

[POSTROLL]

Free Runモードのオン/オフを切り替えます。

ダイレクトモニタリングの設定を追加 (Nuage I/O)

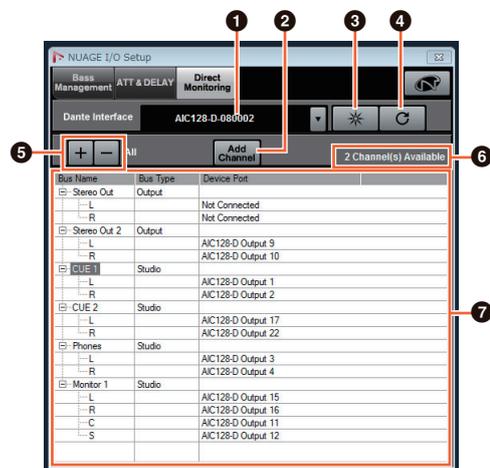
NUAGE I/O Setupで、ダイレクトモニタリングの対象となる出力を選択できるようになりました。

NUAGE I/O Setup画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。

NOTE

- ダイレクトモニタリングの対象は最大16チャンネルです。16を越えるチャンネルが割り当てられているバスは選択できません。
- NuendoのControl Roomのモニターバスは1つだけダイレクトモニタリングの対象にできません。

NUAGE I/O Setup — Direct Monitoring画面



① Dante Interface (ダンテインターフェース)

DAWが使用しているDante Acceleratorを指定します。

② Add Channel (アドチャンネル)

ダイレクトモニタリングの対象となる出力バスを追加します。

③ Identify (アイデンティファイ)

「Add Channel」で指定しているDante Acceleratorを探すときに使用します。「Identify」をクリックすると、対象となるDante AcceleratorのすべてのLEDが同時に数秒間点滅し、自動で止まります。

④ Refresh (リフレッシュ)

ダイレクトモニタリングチャンネルリストを最新の状態に更新します。

⑤ +/- (チャンネルの表示/非表示)

バスに割り当てられているチャンネルを表示(+)/非表示(-)します。

⑥ 追加可能なダイレクトモニタリングのチャンネル数

使用可能なダイレクトモニタリングチャンネル数を表示します。

⑦ ダイレクトモニタリングのチャンネルリスト

ダイレクトモニタリングの対象となっている「Bus Name」(バス名/チャンネル名)、「Bus Type」(バスタイプ)、「Device Port」(デバイスポート名)を表示します。「Bus Type」はダイレクトモニタリング対象のチャンネルがOutputとStudio (Control Room)のどちらに属するかを示します。また、「Bus Name」で選択したバスを右クリックで表示されるコンテキストメニューから削除できます。

NOTE

ダイレクトモニタリング使用時の注意事項については、下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

Avid Pro Toolsで使用するEthernetポートの選択機能を追加 (NUAGE PT Bridge)

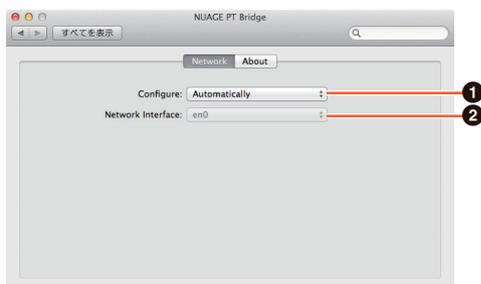
NuageコントローラーをAvid Pro Toolsのコントロールサーフェスとして使用する場合は、NUAGE PT Bridgeの設定が必要です。

以前のバージョンでは、NUAGE PT BridgeのEthernetポート接続機能が常に自動選択だったため、無線LANを選択してしまうことがありました。

本バージョンでは、より簡単にコンピューター本体のEthernetポートを選択できるように手動選択が追加されました。

Ethernetポートの選択は、コンピューターの[システム環境設定] → [NUAGE PT Bridge]で行ないます。

Network画面



① Configure (コンフィギュア)

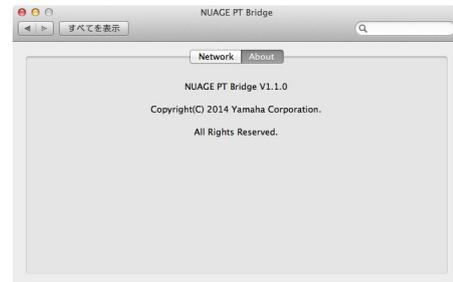
「Network Interface」を自動選択(Automatically)にするか、手動選択(Manually)にするかを選択します。

② Network Interface (ネットワークインターフェース)

NUAGEシリーズと接続するポートを選択します。「Configure」が「Manually」のときに選択可能です。

About画面

NUAGE PT Bridgeの情報を表示します。



その他の機能追加 (Nuage Master)

SETUPページ

設定できる項目が増えたため、3ページに分割しました。

PAGE 1



PAGE 2



Smart Switch Delayで押し続ける時間を調節する各ボタンのうち、[TALK BACK]ボタンとそれ以外のボタンを別々に設定できるようになりました。

また、設定できるパラメーターに「Momentary」が追加されました。Momentaryにすると、押し続ける時間に関係なく、ボタンを押している間だけオンになります。

① Talk Back

COMMUNICATIONセクションの[TALK BACK]の動作を切り替えます。

② Others

[SHUTTLE]、[SCROLL]、[SELECT]、[ZOOM]、[MOVE]、[VOLUME]、[CYCLE]、[●](レコード)の動作を切り替えます。

PAGE 3



③ MUTE Button Behavior

チャンネルストリップの[MUTE]の動作を切り替えます。

Continuousにすると、あるチャンネルの[MUTE]を押したまま別のチャンネルの[MUTE]を押したとき、2つのチャンネルの間にあるチャンネルも一括して「ミュート」をオン/オフします。

Toggleにすると、[MUTE]を押したチャンネルだけ「ミュート」をオン/オフします。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

ヤマハ株式会社

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト：
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハマニュアルライブラリー：
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>